

資料1

用語集

A～Z

A T M (Asynchronous Transfer Mode)

広帯域サービス総合デジタル網を支える通信方式で、音声や画像などのマルチメディアを統合した通信ができる。

b p s (bit per second)

通信回線上を単位時間に送ることのできる情報量（文字量、電気量）を通信速度といい、1秒間に送信できるビット数を表現するために bps という単位が使用される。2進数の1桁を1ビットといい、8ビットで半角1文字分を表す。

C A T V (Cable Television)

有線テレビ放送を行う施設、事業のこと。

C D - R O M (Compact Disc Read-Only Memory)

読み出し専用の光学式ディスクで高密度記憶媒体である。

C U I (Charactor User Interface)

文字によるコマンド入力とメッセージ出力を中心とするユーザインターフェイス。

D D X 回線 (Digital Data Exchange Network)

デジタルデータ交換網で、回線交換 (DDX-C) とパケット交換 (DDX-P) のサービスがある。

G U I (Graphical User Interface)

絵記号 (アイコン) などを介してコンピュータと利用者が対話するインターフェイス。従来のコマンド入力 (文字ベース) 対話方式とは異なる。

I D (IDentification)

各ユーザを識別するためにつけられた固有の文字列。IDとパスワードの入力によってシステムにログインできる。

I S D N (Integrated Services Digital Network)

総合サービスデジタル網で、普通のデータだけでなく、音声、画像などのサービスを一元的に統合した通信網。

L A N (Local Area Network)

同一建物内などのネットワークで、複数の通信機能を相互に結び付け情報通信を高速かつシステム的に行う。

P D A (Personal Digital Assistant)

個人用情報機器を指す製品、主として携帯できる物をいう。携帯情報端末ともいう。

T C P / I P (Transmission Control Protocol / Internet Protocol)

ネットワーク用の標準的なプロトコルで、O S Iの4層、3層に対応する。

V A N (Value Added Network)

通信回線にデジタル通信機能などを付加した付加価値通信網をいう。

V O D (Video On Demand)

都合のよいときに好きな番組、映画をテレビに呼び出して視聴できる、C A T Vのサービスの一つ。

W A N (Wide Area Network)

広域なネットワークをいう。

W i n d o w s

パソコン利用者がディスプレイ画面（小さな窓単位で操作する）上で、マウスを使い、対話する方式。

H D T V (High Definition T V)

きめ細かな画像が見れる高品位テレビで、ハイビジョンともいわれる。

ア 行

アプリケーション

コンピュータ上で動く応用プログラム。

アップロード

下位のコンピュータから上位のコンピュータにデータをまとめて転送すること。パソコン通信などで使われている。

カ 行

クライアントサーバシステム

ネットワーク上のクライアント（サービスを受ける側のコンピュータ）と、サーバ（サービスをする側のコンピュータ）が遠隔手続き呼び出しを行って同期をとりながら処理を進める体系のこと。

クライアント

ネットワークを通じて、サーバから情報を受ける側をいう。

構内交換機 (Private Branch eXchange)

構内の電話交換システムで内線、外線電話を交換する。

サ 行

サーバ

ネットワークを通じて、他のコンピュータからの要求を処理するコンピュータやプログラムをいう。

タ 行

ダウンロード

上位のコンピュータから下位のコンピュータにデータをまとめて転送すること。

データベース

データを大量に蓄積し整理して、コンピュータが処理しやすい形にしたファイルまたはその集合のこと。

ハ 行

パスワード

データベースや情報サービスなどを利用する際に必要なデータで、これによってコンピュータシステムに正当なユーザであることを示す。

ハブ (HUB)

LANを構築する場合に幹線通信路から複数の通信路を引き出すために必要となるケーブルの集線装置。

ビジネス・プロセス・リエンジニアリング (Business Process Reengineering)

仕事の流れを、本来あるべき姿に、根本から再設計・組み立て直して、コスト削減や製品・サービスの高品質化を図り、企業業績を劇的に改善させようとするもの。

ブルータ

異なるプロトコル間の一方のネットワークから来たデータをブリッジの機能を使って他方のネットワークにデータ転送することができように、ルータにブリッジ機能を加えた機器。

ホストコンピュータ

コンピュータや端末を含むシステムの中心となるコンピュータ。

マ 行

マルチメディア

デジタル技術を基に文字情報を始め、静止画、動画や音声などあらゆるメディアを統合して扱えるメディア。

モデム (MODEM)

デジタル信号を電話回線のアナログ信号に変換・送信する変調器と、受信したアナログ信号をもとのデジタル信号に戻す復調器を一体にした装置。

ヤ 行

ユーザインターフェイス

ユーザがOSやアプリケーションに対して指示を与えるための手段。たとえば、MS-DOSに対して「ディスク内のファイル一覧を表示しなさい。」と指示を与えるときには、「DIR」とコマンドを入力する。このようにキーボードを使用して指示（コマンド）を与える方法をCUIという。それに対して、MS-Windowsのようにマウスを使用して画面上の絵（アイコン）をクリックするなどしてメニュー選択をおこなう方法をGUIという。

ラ 行

リレーショナルデータベース

データ構造は、表形式による関係表（行と列で表現）となり、利用者は物理的なデータ構造を意識なく、簡単な関係代数で操作ができる。

ルータ

LANの相互接続をする装置。

ログイン

クライアントからサーバに接続して、データのやりとりができる状態になること。

資料2

教材情報の種類

1 自作教材付加情報例

教材のタイトル

AutoCAD GX-5 オペレーションマニュアル 3次元図形作成編

教材の目的

この教材は、初めて3次元CAD（オートCAD）を使用される方に、3次元CADに必要な要素を取り入れた課題をもとに、オペレーションを中心にして作成方法を習得する目的で製作したもので、これを基礎にして次のステップ・アップに役立てることを望みます。

目 次

1. 3次元図形作成例	
1-1. 水平線と垂直線の作成・画面縮小	1
1-2. 平行線の作成（垂直線，平行線を指示）	2
1-3. 円・平行線と垂直線を作成	3
1-4. 平行線のトリム・線の尺度変更・線種変更	4
1-5. 線のトリミング	5
1-6. 図形削除	7
1-7. 各部R仕上げ	8
1-8. 線の傾斜	9
1-9. 線の延長・不要線のトリミング	10
1-10. 形状修正	11
1-11. 線の延長・形状修正・線の延長	12
1-12. 円の作成・図形削除・円と線のトリミング	13
1-13. 座標系変更・図形回転	14
1-14. 視点方向変更	16
1-15. 図形移動	17
1-16. 不要線削除・線を複写・直線を作成	18
1-17. 垂直線を指示・垂直線の複写	19
1-18. 線の傾斜・X軸に3度傾ける	20
1-19. 視点方向変更・線の傾斜	21
1-20. 不要線のトリミング・座標系変更・円弧作成等	22
1-21. コマンド（TRIM, UCS, ARC等）	23
1-22. 座標系変更・不要線を削除・不要線をトリミング	26
1-23. 現在層変更・面作成	28
1-24. 現在層変更・層をOFFにする・面作成	29
1-25. 層をONにする	33

教材作成者名

三浦 公嗣
ミウラ コウジ
M200

作成年月日： 1992/03/31

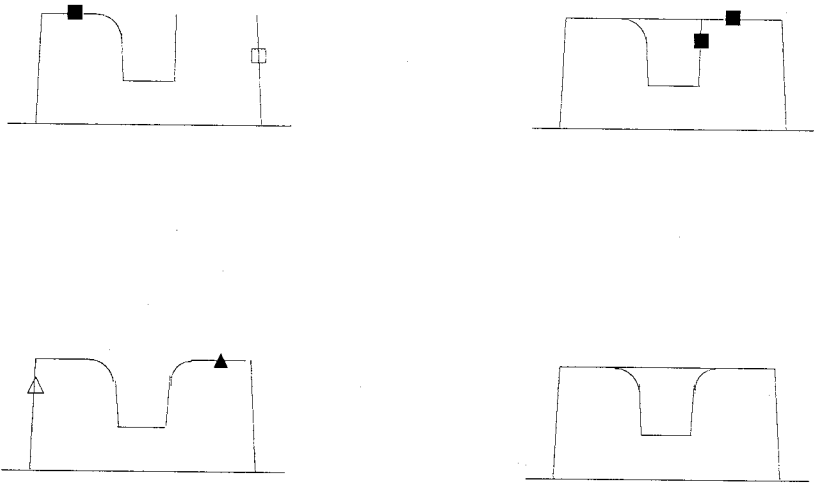
訓練時間： 24

機械： PC98

参考文献

Auto CAD マニュアル (オートデスク社)

2 全文型モデル教材例

作図補助 作成 編集 操作 設定 オプション ユーティリティー ファイル ソリッド	AUTOCAD
	**** 複合図形 : 寸法記入 図面操作 図面作成 図面編集 図面情報 画 層 メタビュー プロッタ モード変更 ソリッド 3次元 : ユーザ 座標系 補助機能 ボーナス : 図面保管
コマンド:	

作図内容

①線の延長

操作手順

①コマンド: EXTEND (左上の図)

境界線を指示...

図形を指示: ○ 指示された数: 1 選択された数: 1

図形を指示:

延長する図形を指示/Undo: ●

延長する図形を指示/Undo:

②形状修正

フィレットをかける

②コマンド: FILLET (右上の図)

P=ポリライン/R=半径<線を二本指示>: ■■

③線の延長

③コマンド: EXTEND (左下の図)

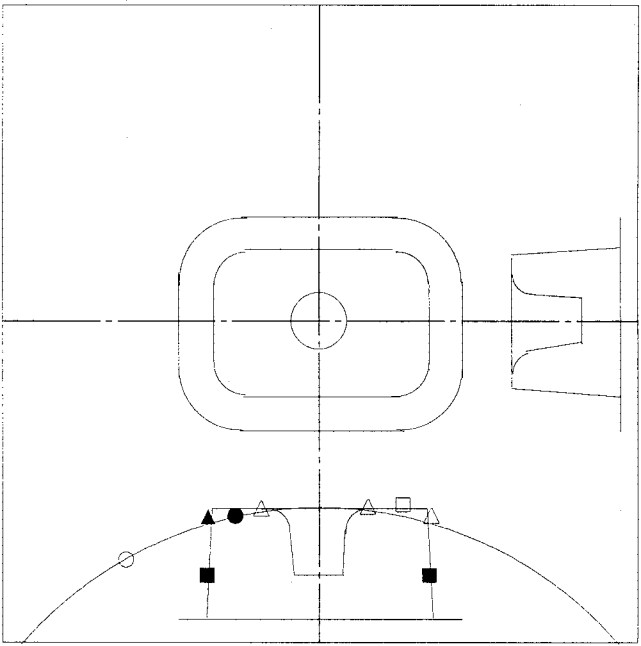
境界線を指示...

図形を指示: △ 指示された数: 1 選択された数: 1

図形を指示:

延長する図形を指示/Undo: ▲

延長する図形を指示/Undo:

<p>作図補助 作成 編集 操作 設定 オプション ユーティリティー ファイル ソリッド</p>	<p>AUTOCAD</p>
	<p>**** 複合図形 : 寸法記入 図面操作 図面作成 図面編集 図面情報 画 層 メタビュー プロッタ モード変更 ソリッド 3次元 : ユーザ 座標系 補助機能 ボーナス : 図面保管</p>
<p>コマンド:</p>	

①円の作成

①コマンド: CIRCLE
 2P=2点/3P=3点/TTR=接・接・半/
 <中心を指定>: 150, -30
 半径 (またはD=直径): 131

②図形削除

②コマンド: ERASE (ZOOMで拡大した後)
 図形を指示: □ 指示された数: 1 選択された数: 1
 図形を指示:

③円のトリミング

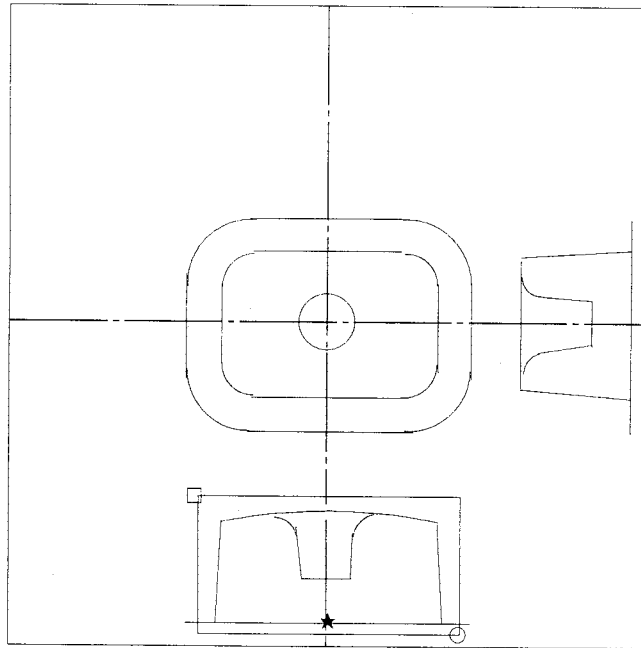
2箇所をトリムする

③コマンド: TRIM
 切り取り線を指示...
 図形を指示: ■ 指示された数: 1 選択された数: 1
 (2箇所を指示)
 図形を指示:
 切取る図形を指示/Undo: ○
 切取る図形を指示/Undo:

④線のトリミング

4箇所をトリムする

④コマンド: (TRIM)
 切り取り線を指示...
 図形を指示: ● 指示された数: 1 選択された数: 1
 図形を指示:
 切取る図形を指示: Undo: △ (4箇所を指示)
 切取る図形を指示: Undo:



 複合図形
 : 寸法記入
 図面操作
 図面作成
 図面編集
 図面情報
 画 層
 メタビュー
 プロッタ
 モード変更
 ソリッド
 3次元
 : ユーザ
 座標系
 補助機能
 ボーナス
 : 図面保管

コマンド:

作図内容

①座標系変更

X軸の回りの回転

Y軸の回りの回転

②図形回転

図形を90度回転

操作手順

①コマンド: UCS (ZOOMで縮小した後)

O=原点/Z A=Z軸/3=3点/E=図形/
 V=視点/X/Y/Z/P=直前/R=呼出/
 S=登録/D=削除/?=一覧表/<ワールド>: X
 X軸の回りの回転角度<0>: 90

コマンド: (UCS)

O=原点/Z A=Z軸/3=3点/E=図形/
 V=視点/X/Y/Z/P=直前/R=呼出/
 S=登録/D=削除/?=一覧表/<ワールド>: Y
 Y軸の回りの回転角度<0>: 90

②コマンド: ROTATE

図形を指示: W

一点目: もう一方の点: 選択された数: 8

図形を指示:

基点: 交点 (INT of) ★

<回転角度>/R=参照: 90

3 自作教材リスト例

教材のタイトル

リレーシーケンスの基礎 (ユニログ編)

教材の目的

シーケンス制御を学ぶに当たって、その基礎を学習するためのテキストです。内容はユニログ編とリレーシーケンス解説編、リレーシーケンス回路編に分かれています。

目 次

(ユニログ編)

シーケンス制御

ロジック素子

ロジック回路

ブール代数

問題

電動機制御

リフト制御

NAND回路

カルノー図

作成者等

濱川

ハマカワ

所属：N490

作成年月日：1995/04/01

訓練時間：21

4 労働省認定教材例1

教材のタイトル

生産工学概論

教材の目的（訓練の種類、訓練課程名）

この教材は、職業能力開発促進法に定める普通職業訓練の普通課程に関する基準に基づき、「生産工学概論」の教科書として労働省で認定されたものです。

このため職業能力開発施設で使用するのに適切であるばかりでなく、さらに広く知識・技能の習得を志す人々にも十分活用していただける教科書です。

目次（教科の科目名）

- 第1章 生産および工場
 - 第1節 生産のしくみ
 - 第2節 生産の様式
 - 第3節 生産活動の構成要素
- 第2章 生産の合理化
 - 第1節 生産合理化の対象
 - 第2節 生産合理化の評価
 - 第3節 生産合理化の推進
- 第3章 生産活動の分析
 - 第1節 工程分析
 - 第2節 余力分析
 - 第3節 日程分析
- 第4章 生産計画および生産統制
 - 第1節 工程管理の概要
 - 第2節 生産計画の立て方
 - 第3節 作業分配の仕方
 - 第4節 生産統制の方法
- 第5章 作業の改善および標準化
 - 第1節 作業研究の概要
 - 第2節 作業分析
 - 第3節 動作分析
 - 第4節 作業の標準化と標準時間の設定
- 第6章 品質管理
 - 第1節 品質管理の目的とその重要性
 - 第2節 品質の変動
 - 第3節 統計的方法の基礎
 - 第4節 管理図
 - 第5節 抜取検査

- 第7章 運搬管理
 - 第1節 運搬管理の概要
 - 第2節 運搬分析
 - 第3節 運搬機器
- 第8章 原価管理
 - 第1節 原価の分類とその構成
 - 第2節 原価計算の手順
 - 第3節 見積り原価計算
- 第9章 設備の保全および公害
 - 第1節 設備投資の経済計算
 - 第2節 設備保全
 - 第3節 故障
 - 第4節 保全管理
 - 第5節 工具管理
 - 第6節 生産と公害
- 第11章 職場規律
 - 第1節 就業規則
 - 第2節 常識的な職場規律

作成者等

雇用問題研究会
コヨウモンダイケンキュウカイ

作成年月日：1994/02/00

訓練時間：20

編集者、発行者名等

編集者名 職業能力開発大学校
発行所名 社団法人雇用問題研究会
〒103 東京都中央区日本橋堀留町1-5-11 03(5695)0780
定価 500円

改定承認年月日 平成6年1月18日

改定承認番号 第57504号

4 労働省認定教材例2

教材のタイトル

材料力学

教材の目的（訓練の種類、訓練課程名）

この教材は、職業能力開発促進法に定める普通職業訓練に関する基準に基づき「材料力学」の教科書として労働省で認定されたものです。

このため職業能力開発施設で使用するのに適切であるばかりでなく、さらに広く知識・技能の習得を志す人々にも十分活用していただける教科書です。

目 次（教科の科目名）

第1章 材料力学の基礎

- 第1節 荷重
- 第2節 応力
- 第3節 ひずみ
- 第4節 応力とひずみの関係
- 第5節 材料の機械的性質
- 第6節 材料の強さ
- 第7節 許容応力・安全率

第2章 単純応力

- 第1節 引張応力、圧縮応力およびひずみ
- 第2節 ポアソン比
- 第3節 弾性係数
- 第4節 垂直応力とせん断応力の関係
- 第5節 熱応力
- 第6節 内圧を受ける薄肉円筒と球
- 第7節 動荷重
- 第8節 応力集中
- 第9節 リベット継手
- 第10節 溶接継手

第3章 はり

- 第1節 はりをつり合い
- 第2節 片持ばり
- 第3節 単純ばり
- 第4節 はりに生ずる応力
- 第5節 はりの強さを求める基本式
- 第6節 はりの曲がりとなわみ

第4章 軸

- 第1節 軸とねじり
- 第2節 ねじり応力
- 第3節 ねじりモーメントと極断面係数
- 第4節 軸の強さと伝達動力

第5章 柱

- 第1節 柱と座屈
- 第2節 編心荷重による柱の曲げ
- 第3節 柱の種類
- 第4節 座屈荷重と座屈強さ
- 第5節 柱の強さ

作成者等

職業訓練教材研究会

シヨクギョウケンレンキョウザイケンキョウカイ

作成年月日：1996/01/10

訓練時間：40

編集者、発行者名等

編集者名 職業能力開発大学校

発行所名 財団法人 職業訓練教材研究会

〒162 東京都新宿区戸山1-15-10 03(3202)5671

定価 920円

改定承認年月日 平成7年12月1日

改定承認番号 第57925号

4 労働省認定教材例3

教材のタイトル

配管実技教科書

教材の目的（訓練の種類、訓練課程名）

この教材は、職業能力開発促進法に定める普通職業訓練の普通課程及び短期課程において配管部門の教科書として労働省で認定されたものです。

このため職業能力開発施設で使用するのに適切であるばかりでなく、さらに広く技能の習得を志す人々にも十分活用していただける教科書です。

目次

工具一覧

1. 卓上ボール盤による穴あけ作業
2. 帯のご盤の取扱い
3. 高速といし切断機の取扱い
4. 両頭研削機による研削作業
5. コンクリートたがねの研削
6. ドリルの研削
7. 電気ドリルによる穴あけ作業
8. ポータブルハンドソーの使い方
9. ディスクグラインダによる研削作業
10. 万力の取扱い
11. コンクリートはつり作業
12. やすりかけ基本動作
13. ノギスによる長さの測定
14. 金切りのこの使い方
15. ステンレス管の取扱い
16. 鋼管の切断
17. ライニング鋼管の取扱い
18. 鋳鉄管の切断
19. 手動ねじ切り作業
20. 動力ねじ切り機の使い方
21. 動力ねじ切り機による切断
22. 動力ねじ切り機によるねじ切り作業
23. ねじ接合
24. トーチランプの使用法
25. 鋼管はんだ接合
26. フレア接合
27. 硬ろう付

28. ベンダによる鋼管の曲げ
29. はんだ接合
30. 硬質塩化ビニル管の接合 T S 接合法
31. メカニカルジョイント接合
32. ビクトリックジョイント接合
33. 排水鉛管の管曲げ
34. 塩化ビニル管の管曲げ
35. 火作りと熱処理
36. 汚水ますの施工
37. 洗面器の取付け
38. 壁かけ手洗面の取付け
39. 便器の取付け
40. ロータンクの取付け
41. ロータンク金具の取付け
42. すみ付きロータンクの取付け
43. 器具の取付け
44. 浴槽の取付け
45. 湯沸器の取付け
46. ボイラの取付け
47. 膨張タンク（開放型）の取付け
48. 露出型放熱器（ファンコイル）の取付け
49. エアコンの取付け
50. エアコンの点検
51. ポンプの据付け
52. 水圧試験
53. 気圧試験
54. ガスフレキ配管
55. 給水、給湯のヘッド・さや管工法
56. インサート打ち
57. スリーブ箱入れ
58. 水準測量（オートレベル）
59. 屋外排水設備(1)
60. 屋外排水設備(管敷設)(2)

作成者等

職業能力開発大学校

シヨクギョウノウリョクカイハツダイガッコウ

作成年月日：1994/06/03

訓練時間：200

編集者、発行者名等

編集者名 職業能力開発大学校

発行所名 社団法人 雇用問題研究会

〒103 東京都中央区日本橋堀留町1-5-11 03(5695)0780

定価 1,600円

改定承認年月日 平成5年9月13日

改定承認番号 第57473号

資料3 付加情報ファイルのフォーマット

登録された教材には、検索を行うために「タイトル」や「作成者」「研修カリキュラムコード」など様々なデータを付加する必要がある。これらの情報を1つのファイルとしてまとめたものが付加情報ファイルである。

[Main]

Title = 教材のタイトル (教材に付けられたタイトル名)

[Object]

Obj0 = : 教材の目的 (教材の概要、使用目的など)

Obj1 = : (「Obj0 = :」からはじまり、Obj1=:、Obj2=:・・・と続く)

Obj2 = :

.

.

[index]

idx0 = : 教材の目的 (教材の目次、目録等)

idx1 = : (「idx0 = :」からはじまり、idx1 = :、idx2 = :・・・と続く)

idx2 = :

.

.

[Author]

Name0 = 第1 作業者 (教材作成者名)

Read0 = 第1 作業読みカナ (教材作者の読み仮名)

Code0 = 第1 作業者所属コード (教材作者の所属コード)

Mame1 = 第2 作業者

Read1 = 第2 作業者読みカナ

Code1 = 第2 作業者読みカナ

Name2 = 第3 作業者

Read2 = 第3 作業者読みカナ

Code2 = 第3 作業所属施設コード

[SubMain]

Machine = 作成機種 (教材が作成された機種を表す。下記参照)

- ・ (NONE)分類不能
- ・ (WIN)Windows汎用
- ・ (MAC)MacIntosh用
- ・ (DSWIN)DOSおよびWindows汎用
- ・ (PC98)PC9801および互換機用
- ・ (UNIX)UNIX汎用
- ・ (DOS)DOS汎用
- ・ (PCAT)PC/AT互換機用
- ・ (OTHR)その他

Date = 作成年月日 (教材が作成された日付)

Term = 訓練時間 (単位 Hour) (教材の訓練時間数を時間単位で表す。)

Media = 付属メディア種別 (データベースに登録できないもの。下記参照)

- ・ (1)ビデオカセット(VTR)
- ・ (2)CDROM,MO,レーザーディスク
- ・ (3)フィルム
- ・ (4)OHP
- ・ (5)スライド
- ・ (6)カセットテープ
- ・ (7)フロッピーディスク
- ・ (8)模型, システム機器等
- ・ (9)印刷物
- ・ (10)その他

MediaNo = 付属メディア識別番号 (付属メディアの識別番号)

CurKind = セミナーカリキュラムコード (セミナーカリキュラムモデル集の能力開発セミナーの分類番号)

TcrKind = 研修カリキュラムコード (指導員研修カリキュラム事例集の研修コース番号)

UintKind = システムユニットコード (システムユニットモデル集のユニット分類番号)

PartKind = 部品種別 (図版、解説等、下記参照)

- ・ (0)教材本体
- ・ (1)文章／解説
- ・ (2)図版
- ・ (3)その他

Userid = 登録申請者 I D

[Bibliography]

Bib0 = 参考文献 (参考文献)

Bib1 = (Bib7まで8件)

Bib2 =

Qbib0 = 引用文献 (引用文献)

Qbib1 = (Qbib7まで8件)

資料4 教材開発支援システムの操作

目次

1. 教材開発支援システムへの接続
 1. 1 システムへ接続するための準備
 1. 2 接続の方法
 1. 3 U I T n e t からの教材開発支援システムへの接続
 1. 4 運用スケジュール

2. U I T n e t からの接続
 2. 1 U I T n e t からの接続
 2. 2 教材開発支援システムの利用

3. 教材開発支援システムの機能
 3. 1 データベースの検索
 - (1) 教材の検索1 (任意文字列からの検索)
 - a. 検索
 - b. 教材一覧
 - (2) 教材の検索2 (作者名からの検索)
 - a. 検索
 - b. 教材一覧
 3. 2 教材の表示
 3. 3 ダウンロード
 3. 4 アップロード
 3. 5 終了

付録 教材開発支援システム利用申請書

参考資料 教材情報資料 No. 21 (1995)、
LANシステムの基礎 (U I T n e t 操作マニュアル)

1. 教材開発支援システムへの接続

1. 1 システムへ接続するための準備

システムに接続するには以下のものが必要となる。

○GUI

- ・ Windows 3.1が動作するPC 98シリーズ、またはDOS/Vのパソコン
- ・ パソコン モデム (公衆回線接続の場合)、またはパソコンターミナルアダプタ (同期式64 kbps) (INS 64回線)
- ・ 教材開発支援システムアプリケーションソフト
- ・ TCP/IPソフト (PPP対応) (公衆回線)、またはTCP/IPソフト (機器サポートのドライバを含む) (INS 64回線)

○CUI

- ・ コンピュータ (無手順のターミナル通信用ソフトウェアが動作するもの)
- ・ 通信用ソフトウェア (無手順のもの)

教材開発支援システムには、次の回線が利用できる。

- | | | |
|------------|-----|--------------|
| ① 公衆回線1 | GUI | 0427-60-2951 |
| ② 公衆回線2 | CUI | 0427-60-2952 |
| ③ INS 64回線 | GUI | 0427-60-7169 |

GUIモードでは本システム専用のアプリケーションソフト等が必要で、ハードウェアについても能力の高いコンピュータ、モデム等の制限がある。しかし、MS-Windows 3.1上で稼働するために、操作性が優れている。

一方、CUIでは、ハード面の制限等がないので、DOS対応のパソコン、市販のパソコン通信用ソフトウェアで利用できる。いずれにしても、直接本システムにアクセスすることになるので、市外通話料金となる。

1. 2 接続の方法

接続の方法については以下の設定を行う。

○GUI

- ・ 通信速度 : 14400bps
- ・ データビット : 8
- ・ ストップビット : 1
- ・ パリティ : なし
- ・ フロー制御 : ハードウェア
- ・ ポート : モデムの接続先ポート

- ・ユーザ名 : P C
- ・パスワード : なし
- ・スタートアップコマンド : なし
- ・電話番号 : 0427-60-2951
- ・IPアドレス : 配布されたアドレス
- ・サブネットマスク : 255.255.252.0
- ・ホスト名 : 任意
- ・ドメイン名 : なし
- ・デフォルトゲートウェイ : なし
- ・ネームサーバ(DNS) : なし
- ・ルートエントリ : なし

○CUI

- ・通信速度 : 14400bps
- ・データビット : 8
- ・ストップビット : 1
- ・パリティ : なし
- ・フロー制御 : ハードウェア

GUIモードには、教材開発支援システムアプリケーションソフト、TCP/IPソフト、パソコン等のソフト、ハードに制限があるので、現在、雇用促進事業団立の職業能力開発短期大学校等の32施設で試験的に運用されている。全国の職業能力開発施設からの利用は教材開発支援システムに改善が必要なため、CUIのモードで利用することになる。

1.3 U I T n e t から教材開発支援システムへの接続

U I T n e t (職業能力開発大学校が運営しているパソコン通信)に接続するためには、次のものが必要になる。

- ・パソコン
- ・モデム (通信速度が2400bps以上のもの)
- ・通信ソフト (フリーソフト、市販のもの)
- ・電話回線

また、U I T n e t ホストシステムには、以下の回線が接続されている。

- ① 公衆回線1 0427-60-7028 (9600bps)
- ② 公衆回線2 0427-60-7029 (144kbps)
- ③ F E N I C U S 網 FENICS網の最寄りのアクセスポイント
(ROAD2: 2400bps)

現在、各職業能力開発施設ではU I T n e t にアクセスできる環境にあり、また、各アクセスポイントまでの通話料（ほぼ、市内通話料金）で利用できるのも、U I T n e t から本システムにアクセスするのが経済的である。

頻繁に本システムにアクセスするならU I T n e t から利用する方がよい。ただし通信速度が2400bpsと遅いのが欠点である。

（U I T n e t の操作については、教材情報資料No.21を参照。）

1. 4 運用スケジュール

本システムは以下の曜日、時間帯で使用できる。

月曜～金曜の8：00～21：00

（年末、年始、祝祭日を除く）

2. UITnetからの接続

ここではUITnetからの接続について説明する。

2.1 UITnetからの接続

通信ソフトを起動して、最寄りのFENICS網のアクセスポイントを選択し、電話をかける。
UITnetに接続する。

Enter User_ID (ゲスト:UIT09999) >UIT09999 ← ここではゲストIDを入力する。

Enter Password (ゲスト:999) > ← ゲストIDにはパスワードが設定されていないので、改行だけを入力する。

```
.....トップ・メニュー.....

1. サービス案内          2. フォーラム
3. 掲 示 板              4. メール
5. データ・ベース        6. チャット

E. UITnetの終了
```

TOP>5 ← 5番のデータ・ベースを入力する。

```
..... データ・ベース メニュー.....

1. 教 材                2. フリーウェア・ソフト
3. 外部データベース

T. トップ・メニュー
```

DB>3 ← 3番の外部データベースを選択する。

```
..... 外部データ・ベース メニュー.....

1. 能開大図書館          2. インターネット
3. 教材開発支援データベース

M. 前メニュー          T. トップ・メニュー
```


DB>3 ← 3番の教材開発支援データベースを選択する。

しばらくお待ち下さい。

接続中です。

接続しました。

教材開発支援データベースに接続しました。

2. 2 教材開発支援システムの利用

教材開発支援システムの利用には利用者の登録が必要になるので、ユーザIDとパスワードの申請が必要となる。

なお、ユーザIDとパスワードの申請は、付録の教材開発支援システム利用申請書に必要な事項を記入のうえ、システム管理者までFAXで送信する。

Trying 133.59.52.26 ...

Connected to 133.59.52.26.

Escape character is 'off'.

UNIX(r) System V Release 4.0 (kyozaiserver)

login:

← ユーザIDを入力する。

Password:

← パスワードを入力する。

Last login: Tue Sep 19 13:45:15 from 133.59.4.1

Sun Microsystems Inc. SunOS 5.3 Generic September 1993

教材開発支援システム

TOP

1. 検索、ダウンロード
2. アップロード、仮登録教材の削除
- e. 終了

選択してください>E

← 教材開発支援システムを終了する。

接続時間は 00:00:04でした。

Log off at :1995年09月19日 (火) 15時19分10秒 JST

Connection closed by foreign host.

接続を終了します。

..... 外部データ・ベース メニュー

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 能開大図書館 | 2. インターネット |
| 3. 教材開発支援データベース | |
| M. 前メニュー | T. トップ・メニュー |

DB>T ← トップ・メニューへ戻る。

***** トップ・メニュー *****

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. サービス案内 | 2. フォーラム |
| 3. 掲 示 板 | 4. メール |
| 5. データ・ベース | 6. チャット |
| E. U I T n e t の終了 | |

TOP>E ← U I T n e t を終了する。

利用状況をお知らせします。

接続開始時間 15時18分23秒

接続終了時間 15時24分10秒

利用時間 00時間05分47秒

またの御利用をお待ちしております。

3. 教材開発支援システムの機能

3.1 データベースの検索

本システムには、教材の検索、表示、取込み、データ転送などの機能があるので、その主な機能について説明する。

(1) 教材の検索1 (任意の文字列からの検索)

a. 検索

教材開発支援システム	TOP
1. 検索、ダウンロード 2. アップロード、仮登録教材の削除 e. 終了	

選択してください> **1** ← 1番の検索、ダウンロードを選択する。

【検索、ダウンロードメニュー】 1: キーワードを設定 2: 検索条件、特定されたファイルの確認 3: 検索条件のクリア 4: 一覧表示 5: 概要表示 6: ダウンロード E: 終了
--

> **1** ← 1番のキーワードを設定を選択する。

<検索(1): キーワードの設定> 1: フリーキーワード 2: 作者名 3: 教材通番 4: 対応機種 5: カリキュラムコード 6: システムコード 7: 指導員カリキュラムコード 8: 付属メディア種別 9: 訓練時間
--

10: 作成年月日
11: 利用回数
E: 中止

>1 ← 1番のフリーキーワードを選択する。

フリーキーワードを指定してください

>オート% ← 検索したいキーワードの「オート%」を入力する。

「%」で任意の文字列について、「_」で任意の1文字について、ワイルドカードを使うことができる。

1. 入力文字列を検索
2. 入力文字列以外を検索
E. 中止

>1 ← 1番の入力文字列を検索する。

*** 6件、ヒットしました ***

*** 6件、選択されました ***

<検索(1):キーワードの設定>

1: フリーキーワード
2: 作者名
3: 教材通番
4: 対応機種
5: カリキュラムコード
6: システムコード
7: 指導員カリキュラムコード
8: 付属メディア種別
9: 訓練時間
10: 作成年月日
11: 利用回数
E: 中止

>E ← Eの中止を選択する。

b. 教材一覧

一覧表示することにより検索された教材データが表示される。

【検索、ダウンロードメニュー】

- 1: キーワードを設定
- 2: 検索条件、特定されたファイルの確認
- 3: 検索条件のクリア
- 4: 一覧表示
- 5: 概要表示
- 6: ダウンロード
- E: 終了

>4

← 4番の一覧表示を選択する。

教材通番	登録日	作成者	バイト数	タイトル
00000001	1992/03/31	三浦 公嗣 他	3820	Auto CAD GX-
00000002	1992/03/31	三浦 公嗣 他	29994	Auto CAD GX-
00000003	1992/03/31	三浦 公嗣 他	37474	Auto CAD GX-
00000011	1995/04/01	山崎 國廣 他	4769	初心者から高齢者までNC
00000054	1995/04/01	濱川 他	10936	リレーシーケンスの基礎 (
00000061	1995/04/01	濱川 他	66686	リレーシーケンスの基礎 (

検索された教材データの一覧が表示される。

(2) 教材の検索 2 (作者名からの検索)

トップメニューより「1. 検索、ダウンロード」を選択し、次に「1: キーワードを設定」を選択する。

a. 検索

<検索(1): キーワードの設定>

- 1: フリーキーワード
- 2: 作者名
- 3: 教材通番
- 4: 対応機種
- 5: カリキュラムコード
- 6: システムコード
- 7: 指導員カリキュラムコード
- 8: 付属メディア種別

9: 訓練時間
10: 作成年月日
11: 利用回数
E: 中止

> 2

← 2番の作者名を選択する。

作者名を入力してください

> 三浦%

← 作者名%を入力する。

1. 入力文字列を検索
2. 入力文字列以外を検索
E. 中止

> 1

← 1番の入力文字列を検索する。

*** 3件ヒットしました ***

*** 3件、選択されました***

<検索(1): キーワードの設定>

1: フリーキーワード
2: 作者名
3: 教材通番
4: 対応機種
5: カリキュラムコード
6: システムコード
7: 指導員カリキュラムコード
8: 付属メディア種別
9: 訓練時間
10: 作成年月日
11: 利用回数
E: 中止

> E

← Eの中止を選択する。

b. 教材一覧

一覧表示することにより検索された教材データが表示される。

【検索、ダウンロードメニュー】

- 1: キーワードを設定
- 2: 検索条件、特定されたファイルの確認
- 3: 検索条件のクリア
- 4: 一覧表示
- 5: 概要表示
- 6: ダウンロード
- E: 終了

>4

← 4番の一覧表示を選択する。

教材通番	登録日	作成者	バイト数	タイトル
00000001	1992/03/31	三浦 公嗣 他	3820	Auto CAD GX-
00000002	1992/03/31	三浦 公嗣 他	29994	Auto CAD GX-
00000003	1992/03/31	三浦 公嗣 他	37474	Auto CAD GX-

検索された教材データの一覧が表示される。

3. 2 概要の表示

検索された教材データの概要内容が表示できる。

【検索、ダウンロードメニュー】

- 1: キーワードを設定
- 2: 検索条件、特定されたファイルの確認
- 3: 検索条件のクリア
- 4: 一覧表示
- 5: 概要表示
- 6: ダウンロード
- E: 終了

>5

← 5番の概要表示を選択する。

教材番号を入力して下さい

>3

← 検索された教材の番号を選択する。

教材通番 : 3
タイトル : Auto CAD GX-5 オペレーションマニュアル 3次元
作成者 : 三浦 公嗣
登録日 : 1992/03/31
ファイル名 : 16-102.LZH
バイト数 : 37474
対応機種 : PC98

概 要 :

この教材は、初めて3次元CAD（オートCAD）を使用される方に、3次元CADに必要な要素を取り入れた課題をもとに、オペレーションを中心にして作成方法を習得する目的で、製作したもので、これを基礎にして次のステップ・アップに役立てることを望みます。

教材データに付加された教材データの内容（付加情報ファイル）が表示される。

--- テキスト内容も表示しますか (Y/N) ---

>N

← Y又はNを選択する。

Yを選択すると教材の内容が表示される。ただし、テキストの画面なので、図等のデータは文字コードに化けて表示される。

3. 3 ダウンロード

検索後に必要な教材データを取込む（ダウンロード）ことができる。

【検索、ダウンロードメニュー】

- 1: キーワードを設定
- 2: 検索条件、特定されたファイルの確認
- 3: 検索条件のクリア
- 4: 一覧表示
- 5: 概要表示
- 6: ダウンロード
- E: 終了

>6 ← 6番のダウンロードを選択する。

ダウンロードする教材通番を入力してください

>3 ← 検索した結果、必要な3番の教材データを選択する。

【教材通番】 : 3

【ファイル名】 : 16-102.LZH

【バイト数】 : 37474

転送プロトコルを指定してください

- 1. XMODEM
- 2. YMODEM
- 3. ZMODEM
- E. 中止

>1 ← プロトコルを選択する。

ダウンロードを実行してください

***** 16-102.LZH ダウンロード終了 *****

ダウンロードを続けますか？

- 1. 継続
- E. 終了

>E ← ダウンロードを終了する。

3. 4 アップロード

教材を提供する場合は、TOPメニューの「2.アップロード」を選択することによって行う。

教材開発支援システム	TOP
1. 検索、ダウンロード	
2. アップロード、仮登録教材の削除	
e. 終了	

選択してください>2 ← 2番のアップロードを選択する。

【アップロード、仮登録済み教材の削除メインメニュー】

- 1: 仮登録の検索
- 2: 検索条件、特定されたファイルの確認
- 3: 検索条件のクリア
- 4: 一覧表示
- 5: 概要表示
- 6: アップロード
- 7: 仮登録教材の削除
- E: 終了

>6

← 6番のアップロードを選択する。

送信プロトコルを選択してください

1. XMODEM
2. YMODEM
3. ZMODEM
- E. 中止

>1

← 1番のXMODEMを選択する。

** 拡張子を含めず、8バイト以内で、ファイル名を入力してください **

*** 60バイト以内でタイトルを入力してください ***

*** 仮登録するファイルの内容を選んでください ***

1. 付加情報ファイルのみ
2. 付加情報と電子化教材
- E. 仮登録を中止する

>2

← 2番の付加情報と電子化教材を選択する。

アップロードを実行してください

3. 5 終了

教材開発支援システムを終了する。

【検索、ダウンロードメニュー】

- 1: キーワードを設定
- 2: 検索条件、特定されたファイルの確認
- 3: 検索条件のクリア
- 4: 一覧表示
- 5: 概要表示
- 6: ダウンロード
- E: 終了

>E

← Eの終了を選択する。

教材開発支援システム

TOP

- 1. 検索、ダウンロード
- 2. アップロード、仮登録教材の削除
- e. 終了

選択してください>E

← Eの選択を終了する。

接続時間は 00:29:24でした。

Log off at :1995年09月14日 (木) 16時17分39秒 JST

Connection closed by foreign host.

接続を終了します。

付録

教材開発支援システム利用申請書

職業能力開発大学校 研修研究センター 開発研究部

第四開発研究室 システム管理者 あて

〒229 神奈川県相模原市橋本台4-1-1

TEL 0427-63-9070 FAX 0427-63-9263

下記の通り、教材開発支援システムを利用したいので申し込みます。

記

申請日	:	. 19	年	月	日
氏名	:				
ふりがな	:				
生年月日	:				
所属先名	:				
所属科名	:				
連絡先	所属先(代表)	:			
	ダイヤルイン	:			

以下、システム担当者記入欄

ユーザID		IPアドレス		
パスワード		施設コード		発行日